

誠實自然

令和6年7月9日

<中学部 合唱コンクール 開会式>

今日の本番を目指しての毎日の練習本当によく頑張りました。

みんながみんな常にやる気を100%持って取り組んだわけではなく、一人一人それぞれが合唱コンクールに対する思いは、一人一人違うかと思いますが、それでも、一人一人が目標を持って、ここを頑張ろう！ここをもっと何とかしよう！と取り組んできました。一人一人が自分自身の壁を乗り越えて今ここにいます。ぜひ今日の1回に悔いのない歌声を出し切りましょう！

今日は日頃から学校を支えていただいている学校運営委員会の皆さんが来賓として参加されています。運営委員の皆様、いつもありがとうございます。

さて、今月26日から何が始まるか知っていますか？いよいよパリでオリンピックが開催されます。前回はコロナの影響で3年前、東京で開催されました。今回は、以前のような観客も応援できるオリンピック競技が開催されるようです。オリンピックはスポーツの祭典ですので、スポーツでメダルを取るために努力をします。スポーツは、速さだったり得点だったりではっきりします。応援も盛り上がります。

しかし、合唱コンクールは、数字や相手を倒したなどはっきりと結果が見て取れることはあまりありません。

審査をするのも、皆さんのコンクールは、譜面通りに演奏されているか？音ははずれていないか？テンポや強弱、速さなどを審査するのではなく、もちろん審査の項目も音楽的ではありますが、曲の表現だったり、伝え方だったり、審査をする人の感性にどう伝わるかを審査します。審査をする人によって伝わってくるものが違うのは当然で、審査の結果についても人それぞれだと思っています。どのような結果になっても、全力で発表をしたことは事実です。順位はつけなければならないので、賞は決まりますが、台北日本人学校のよいところは、どのような結果でも素直に受け入れることができる広い心のキャパシティが一人一人にあるということです。大事なことは、このステージで1回の発表に全力を仲間といっしょに注ぐということだと思います。悔いのない合唱をお願いします。

保護者の皆様、本日はご来校いただきありがとうございます。今日を迎えるにあたっては、ご家庭でも色々なエピソードやドラマがあったのではないのでしょうか？たくさん励ましていただき、もしかしたら「いやだ！」という気持ちをなだめて練習に参加するように応援していただいたりと、コンクールに向かってのナイーブな気持ちを受け止めていただいた

ことに感謝いたします。その分、ドキドキがあるかもしれません。最後まで応援をよろしくお願いします。

また、中学部の先生たちも練習時間中の見守りなど、よく生徒の頑張りを支えてくれました。もしかしたら、担任の先生が一番緊張しているのではないのでしょうか？

そして、スピーチコンテストも大変よいスピーチですと聞いています。スピーチコンテストに参加してくれた皆さんにも感謝です。今日は多くの人にスピーチを聞いてもらえるチャンスです。堂々と楽しんでスピーチをしていきましょう！

それでは皆さん、今日まで取り組んできた練習の成果を、この仲間といっしょに、全力で発揮していきましょう！

終わります！

<合唱コンクールを終えて>

今年度の合唱コンクールは、どのクラスの合唱も完成度が高い素晴らしい合唱でした。自由曲の選曲もそれぞれのクラスの思いがあり、その思いがクラスで一つになった合唱でした。コンクールですので、順位が発表されますが、順位だけにとらわれることなく、クラス全員で取り組み、仲間とともにステージに立てて、合唱ができたことが素晴らしいことだと思います。

一人の声や表情から一生懸命な声や、全力を出している姿が伝わってきて感動しました。

中学部の皆さん、感動の合唱コンクールをありがとう！

ただただ、素晴らしい言葉に尽きます！

本当にありがとうございました。

これからも「一起加油！」「TJS！」で頑張りましょう！